



『こうちょうしつから こんにちは』

平成 26年 7月 8日

青森市立葛町小学校

校長 木村文江

7月4日(金)の参観日には、たくさんの保護者の皆様にお越しいただきまして、ありがとうございました。(お仕事等の都合で、どうしても出席がかなわなかった方もお疲れ様でした。)子どもたちにも、また、教職員にも、とても励みになりました。心より感謝申し上げます。

ここ3ヶ月の子どもたちの成長振りは、いかがでしたでしょうか。何か気になることがございましたら、いつでもお気軽に担任や他の職員へ声を掛けていただけましたら幸いです。

さて、昨日は、7月7日、七夕でした。『子どもたちの心身ともに健やかな成長』を教職員一同、いつも願いながら、指導・支援をしておりますが、先日、子どもたちの自主性がきらりと光るこんな場面がありました。

☆『みんなで遊ぼう会』企画委員会の子どもの“企画”

6月のある日の給食時間のことでした。検食(子どもたちが給食を食べる30分ほど前に、異状がないかどうかを確認するため、少し早く給食をいただいております)を終えた私の耳に、何やら興味深い放送が流れてくるではありませんか。校長室には通常の放送は入らないのですが、暑くなり、出入り口のドアを開けているので、かすかに耳に届きました。

それは、『企画委員会からの連絡です。明日の昼休み、「みんなで遊ぼう会」をやるので、参加したい人は、外に集まってください。』という内容でした。(あら～、すごい!子どもたちが、自分たちの力で全校での遊びを計画するとは!うちの学校の子どもたちは、何てカッコイイのだろう!)と思い、びっくりするやら嬉しいやらで、ドキドキ、わくわくしてきました。

企画委員会(4～6年生)の子どもたちが、まさに、企画してくれていたのです。学校によっては、ゲーム集会なるものが年間の行事に組み込まれ、委員会の子どもたちが担当してくれることはあるのですが、自主的に活動を計画するなんて、びっくりです!子どもたちがこんなに積極的に活動する姿を見せてくれるとは、嬉しい限りです。

そして、翌日の昼休み、どんなふうにするのだろうと思い、私も校庭に行ってみました。企画委員会担当の先生は、事故が無いように傍にはいましたが、口も手も出さず、見守っています。全ては、企画委員の子

どもたちの肩にかかっています。はたして、全校の子どもたちみんなで楽しむことができるのでしょうか。



【企画委員長さんが、鬼ごっこの仕方を説明してくれました。】



【鬼が決まり、(捕まるものか!)と、一斉に逃げはじめます。】



【1年生から6年生までみんなが一緒に遊べるなんて、いいですね。】

当日は抜けるような青空が広がり、その下で駆け回ること、さぞ、気持ちがよかったことでしょう。たくさん遊びたいという気持ちはあったと思いますが、鬼ごっこは、2回。きりりとしていました。その後で、まだ休み時間が残っていたことから、自由遊びもちゃんとできました。

それから1週間ほどして、『みんなで遊ぼう会』の2度目を行ったようですが、私は、ちょうど出張でその場にいられませんでした。残念！でも、きっと、また、楽しく遊んでいたことと思います。

子どもたちが、子どもたちのために、子どもたちの手による『全校児童で楽しめる遊び』を実際にやってのけるなんて、本当にすごい！企画委員会の子どもの知恵と思いやりと体力と行動力に、感動です！

日々の学びを確かな力とし、子どもたちは、たくましく成長しています。